



学校だより～三カー心～

平岩小中学校
校長室通信No. 2
H29.4.26

平成29年度がスタートして20日余りが過ぎました。私も、少しずつ学校生活のリズムに慣れてきました。学校全体としても、波に乗り始めたような気がします。

■ 学有林

知らない方々も多いと思いますが、本校には幸福寺を西の方にずっと上って行ったところに学有林があります。実際は、私も道路から見上げただけで、山に入ったわけではありませんが、昭和41年に、当時の子どもたちや職員等で、スギとヒノキを植林したようです。山自体は日向市のものですが、植林した木は学校の所有物だそうです。この木を伐採した場合、学校が80%、市が20%で分収する契約となっています。ただし、現在の森林整備計画によると、学校林の樹木を伐採できるのは、平成44年のようです。本年度は、森林組合と相談しながら、間伐を行う予定です。



■ ほめるということ

先日は、日曜日にもかかわらず、授業参観、PTA総会、学級懇談に、多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。お陰様で無事に終えることができました。

ところで、授業を参観されて、お子さんをほめていただいたでしょうか。

参観授業で大切なことは、お子さんをほめるネタを探すことです。特別なことではなく、「先生や友だちの話をよく聞いている」「姿勢良く授業を受けている」など、やるべきことをしっかり取り組んでいるお子さんの姿を見つけてください。そして、言葉にしてほめて、頑張っていることを認めてあげてください。

そうしなければ、子どもは、いつか手を抜き始めます。それは、どれだけ頑張っても、自分の親はほめてくれない認めてくれないと悟るからです。

ですから、言葉にして、ちゃんとほめて認めて、「頑張っていることはちゃんとわかってるよ。これからも頑張ってるね」というメッセージを出すことは大切です。

そんな親のメッセージを励みに、子どもは、根気や粘り強さを身に付けていくのだと思います。



■ 自立

今、子どもたちは、毎朝、頑張って登校してきます。毎日だから大変です。特に、まだ体力や気力が十分に身に付いてない1年生にとっては大変なことです。これから迎える夏の日射しや、冬の冷たい風の中でも、登校は自立の第1歩だと思っています。だから、晴れの日も雨の日も自分の力で登校させてほしいと思います。

親は子どもに一人でも生き抜いていく力を付けてあげなければなりません。いつもでも、手を差し伸べてあげることはできません。

だから、自分一人でも生きていける知恵と自信をつけてあげてください。

「たとえ、アヒルの歩みでも、それが子犬の知恵にしろ、自分の歩む行先は、自分の足の下にある。」

■ 挨拶

毎朝、子どもたちが元気な声で「おはようございます」と挨拶してくれます。多くの生き物が、声を発することで、コミュニケーションをはかります。人は社会性をもった生き物なので、人とコミュニケーションを図ると、多くの場合精神的に安定します。そのきっかけ作りが、一日の中で私たちが使う挨拶です。挨拶の大切さは、昔からよく言われていますし、今でも挨拶ができない人は、社会に出て苦労します。「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません」こんな基本的な挨拶は、子どものうちに、しっかり大人が教えてあげましょうね。